

学校教育目標：心を大切に、多様な学びを通して、生徒一人一人の願いを叶える高西中教育

3学年通信

尾道市立高西中学校
3学年通信第27号
令和2年7月7日

学年集会をしました。

金曜日の学年集会。まず、豊田先生からSNSについてのお話がありました。

SNSを使って、人の嫌がることを書き込んだり、それに同調したりしたことによるトラブルが起きています。友達が傷つくメッセージを送った人もいます。そのような行為があることが悲しく、とても辛いです。SNSは不特定多数に発信することができます。嫌がることを書かれた人からすると、みんなにもそう思われるのではないだろうかと不安になります。また、SNSを使った誹謗中傷は法的にも罰せられる行為です。「軽い気持ち」ですますことができるものではありません。二度とないように、責任のある行動をとってください。また、書き込みをしてしまう背景には、きっとモヤモヤすることやしんどいことがあると思います。ひとりで抱えずに、周りの人や先生に相談をしてほしいと思います。人を傷つけるような間違っただ表現の仕方をせず、相手の思いや気持ちも考えてください。

続いて、内廣先生からは日頃の過ごし方についてのお話がありました。

学校が再開して1ヶ月。だんだんと行動に緩みが出てきています。

もう一度、気を引き締めて、「時を守り、場を浄め、礼を正す」を意識した行動をしていきましょう。まず、「時を守り」。例えば、3年生がスタートした頃は、教科系の呼びかけで2分前に着席していたのに、今は、先生たちが呼びかけて、時間ギリギリに席に座る光景が日常となっています。朝のスタートも同様です。自分たちだけでできていた頃を思い出し、時間の意識をもってこうどうしててください。続いて、「場を浄め」。ロッカーの整理や日々の掃除について、最近よく声をかけていますが、環境が乱れると集中できなくなります。落ち着いた環境で学習ができるようにしてほしいです。最後は「礼を正す」。先日の高校説明会。挨拶の声が小さくてとても残念に思いました。

「時間を守ること」、「環境を整えること」、「挨拶をすること」は、入試でも、「中学校3年間で当然身に付いていること」とされることです。それだけではなく、これからの社会でも必要な力です。

校長先生も「日頃からやっていたら、入試でも当たり前ができるようになる」とよくお話をされてます。「時を守り、場を清め、礼を正す」を日頃から、みんなで意識していきましょう。

☆友達と高め合おう☆

国語の授業で、「序論・本論・結論」に分かれる理由をみんなの前で述べる場面がありました。国語では、考えを交流した時に、「いいな、なるほどな」と思ったことは、色を変えてメモし、自分の書いた内容に加筆・修正します。

この授業でも、仲間の発表を真剣に聞き、自分の書いた内容と比べて、よりよい説明になるように加筆・修正していました。授業後の振り返りにも、「こういう風に表現すれば分かりやすくなると思った」、「そういう視点で考えればいいのかと参考になった」とありました。先日の『論語』の授業で「朋 遠方より 来る有り 亦楽しからずや」の理由を考えてた時にも、ほとんどの人が「仲間と学ぶことで、いろんな考え方ができるようになる」、「自分と違う考えが出た時に、なぜかを一緒に考えることで、いろんな見方ができる」などと、仲間と学ぶことの意義を書いていたね。

今回紹介した国語の授業の場面では、発表を聞いて自分に取り入れる活動でしたが、時に議論したり、比較・検討したりする中で、お互いのよき姿を取り入れ、高め合っていける学習集団になっていきたいですね。

【授業の様子】

